

都内2緑地におけるインドナガエンマムシ (エンマムシ科)の記録

野村周平

つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館動物研究部
E-mail: nomura@kahaku.go.jp

Records of the Histerid Species *Platylister atratus* (Erichson) from Two Green Areas in the Central Tokyo

Shûhei NOMURA

インドナガエンマムシ *Platylister* (*Platylister*) *atratus* (Erichson, 1834) は、国内では従来、伊豆諸島三宅島および八丈島 (平野, 1988), 九州, 屋久島以南の南西諸島から知られ、本州からは未記録であった。しかし近年、インターネット上で都内からの記録が挙げられており、国内外来種との疑いが浮上している。品川区都立林試の森公園では、インターネット上の情報では2012年秋ごろにすでに確認されている。

筆者は2013年に、上と同じ林試の森公園内にて、ネット情報とは別に本種と思われる種を写真

撮影した。またこのたび、国立科学博物館附属自然教育園 (同港区白金) の生物相調査の過程でバナナトラップによって本種1頭を採集しているので、以下に報告する。なお、後者の標本については、北海道大学総合博物館の大原昌宏教授によって、本種と確認された。

<写真撮影・採集データ>

1 ex., 東京都品川区都立林試の森公園, 14. x. 2013, 筆者撮影.

1 ex., 東京都港区白金, 国立科学博物館附属自然教育園 (バナナトラップによる), 7-15. vii. 2017,



図1. A, 林試の森公園内の本種発見ポイント (黄矢印) ; B, 林試の森公園で発見されたインドナガエンマムシ ; C, 自然教育園の景観 ; D, バナナトラップの設置状況 (黄矢印) .



図2. A, 自然教育園で採集されたインドナガエンマムシ；
B, 同左個体のラベル。

筆者採集。

末筆ながら、インターネット情報について示唆いただいた、川越市の亀澤洋氏、およびインドナガエンマムシの同定をいただいた、北海道大学総合博物館の大原昌宏教授に厚く御礼申し上げます。

引用文献

平野幸彦, 1988. インドナガエンマムシ八丈島の記録. 月刊むし, (211): 37.

(2018年10月14日受領, 2018年12月12日受理)

【短報】石川県におけるダンダラテントウの初記録

ダンダラテントウ *Cheilomenes sexmaculata* は、国内では本州、四国、九州、南西諸島に分布する体長3.7～6.7 mmのテントウムシ科の種である(坂本, 2018). 本種は気候の温暖化に伴い分布域を北上させている可能性が示唆されており、関東と北陸地方が国内分布の北限とされている(Kawakami *et al.*, 2014). 筆者はこれまで未記録であった石川県において本種を発見したため、県初記録として報告する。

報告に先立ち、本種の分布についてご教示いただき草稿をご校閲いただいた大阪市立自然史博物館の河上康子氏、仲介の労を賜った石川県ふれあい昆虫館の福富宏和氏に深謝申し上げます。

1ex., 石川県白山市若宮1丁目 若宮公園, 18. IX. 2018, 渡部晃平採集・保管(図1).

北陸地方における本種の記録は、福井県福井市において1984年に採集された個体が報告されている(田中・佐々治, 1992). その後、石川県内で実施された2015年の調査において本種は発見されおらず(河上氏私信), 福井県の記録から約34年を経て石川県から発見されたことになる。



図1. 石川県産ダンダラテントウ.

本種は緯度が高い地域ほど黒色部が広い個体の出現頻度が増加することが知られている(Kawakami *et al.*, 2013). 今回発見された個体はSasaji & Akamatsu (1979), Kawakami *et al.* (2013) が報告したグループGに分類される色彩をしており、緯度が高い地域に出現する個体の特徴が表れていた. 本記録は国内分布の北限記録であるため、今後の動向を注視する必要がある。

引用文献

Kawakami, Y., K. Yamazaki & K. Ohashi, 2013. Geographical variations of elytral color polymorphism in *Cheilomenes sexmaculata* (Fabricius) (Coleoptera: Coccinellidae). *Entomological Science*, 16: 235–242.

Kawakami, Y., K. Yamazaki & K. Ohashi, 2014. Northward expansion and climatic factors affecting the distribution limits of *Cheilomenes sexmaculata* (Coleoptera: Coccinellidae) in Japan. *Appl Entomol Zool*, 49: 59–66.

坂本優介, 2018. テントウムシハンドブック. 88 pp. 株式会社文一総合出版.

Sasaji, H. & M. Akamatsu, 1979. Reproductive continuity and genetic relationships in the forms of the genus *Menochilus* (Coleoptera: Coccinellidae). *The Memoirs of the Faculty of Education, Fukui University Series II (Natural Science)*, 29: 1–18.

田中秀史・佐々治寛之, 1992. 福井県産テントウムシ科27種の核型. *福井虫報*, (11): 25–38.

(渡部晃平 920-2113 白山市八幡町戊3番地
石川県ふれあい昆虫館)